

自動車機械工具販売実績

2011年度・機工協調べ

3.3%増加で継続成長 904億円

自動車機械工具販売実績集計表

番号	項目	国内販売金額(千円)	輸出販売金額(千円)	輸入販売金額(千円)	合計金額(千円)	対前年比(%)	項目に占める割合(%)
1.1~10	自動車総合診断装置	3,997,732	1,885,103	0	5,882,835	112.5%	6.5%
2.1~10	車検機器	6,887,960	63,500	201,933	7,153,393	75.9%	7.9%
3.1~10	洗車洗浄装置	5,777,666	2,436	322,122	6,102,224	118.8%	6.7%
4.1~10	リフト・ジャッキ・プレス	12,109,849	59,854	196,569	12,366,272	101.7%	13.7%
	(車載用)	2,809	0	0	2,809	99.1%	0.0%
5.1~10	エアコンプレッサー	1,723,690	3	4,999	1,728,692	106.7%	1.9%
6.1~10	空圧電動工具	1,584,947	5,701	757,141	2,347,789	116.0%	2.6%
7.1~10	ハンドツール	5,457,650	792,663	4,679,516	10,929,829	100.9%	12.1%
	(車載用)	26,928	0	0	26,928	38.6%	0.03%
8.1~10	車体整備機器	1,418,008	846	699,092	2,117,946	90.3%	2.3%
9.1~10	塗装機器	791,275	2,120	40,863	834,258	90.3%	0.9%
10.1~10	バッテリー・クーラーサービス機器	1,336,428	612	321,314	1,658,354	121.5%	1.8%
11.1~10	エンジン診断用機器	1,431,707	80,858	1,523,415	3,035,980	129.0%	3.4%
12.1~10	エンジン整備用機器	624,617	181,098	122,116	927,831	130.8%	1.0%
13.1~10	ジヤー用機器	48,369	2,195	43,698	94,262	154.6%	0.1%
14.1~10	ブレーキ・ホイールサービス機器	2,668,481	3,280	2,485,355	5,157,116	124.5%	5.7%
	(車載用)	33,272	0	0	33,272	55.7%	0.0%
15.1~10	ガレージ用一般機器	2,936,686	17,952	1,311,328	4,265,966	103.7%	4.7%
16.1~10	注油脂機器	1,461,305	8,211	55,234	1,524,750	99.7%	1.7%
17.1~10	各種システム	336,351	0	0	336,351	116.7%	0.4%
18.1~10	環境整備機器	461,722	504	198,392	660,618	84.8%	0.7%
19.1~10	その他	21,788,582	1,218,095	309,614	23,316,291	103.7%	25.8%
	総合計	72,842,925	4,325,031	13,272,701	90,440,657	103.3%	100.0%
	(車載用合計)	63,009	0	0	63,009	47.6%	0.1%

2011年4月1日～12年3月31日

日本自動車機械工具協会(機工協、中谷良平会長)の「自動車機械工具販売実績」によると2011年度の機械工具販売金額は対前年比3・3%増の904億円となり、2年連続の増加を示した。しかしリーマンショック以前と比べると8割の実績で本格回復には至っていない。また東日本大震災による復興需要によって1～2%数値が押し上げられた。

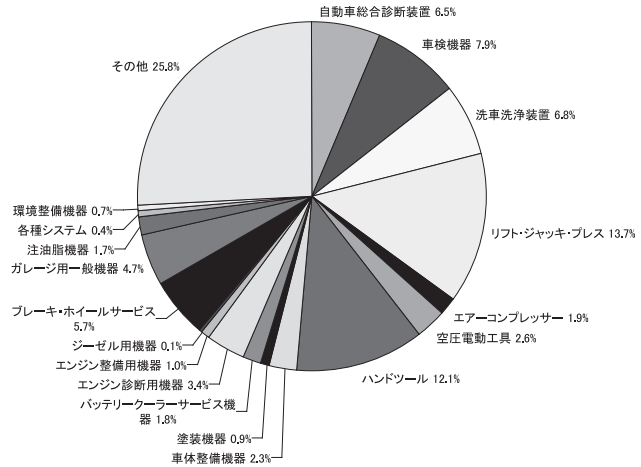
機工協は2011年度の「自動車機械工具販売実績」(2011年4月1日～12年3月31日)を発表した。

エンドユーザー価格ベースでの販売総額は904億4065万7千円となり、前年に比べ3・3%増となった。総額に占める輸入品の割合は14・7%と、前年から1・5ポイント上昇し、継続した成長を見せた。

上期では震災直後のため新車供給が減少したこと等から、投資意欲が弱まり、市場も共に低迷した。一方下期は新車供給の回復、政府による施策などを背景に投資意欲が戻り、上期の市場低迷を補った形となった。

製品では工事を伴う大型機

2011年度売上構成比



器の需要が減少し、整備時に最低限必要とされる小型機器の需要が増加した。

項目別で見ると、現在注目を浴びるスキヤンツールを含む「エンジン診断用機器」は対前年比29%増、30億3598万円。多くを占めるのがスキヤンツールで、数量5万6千台、約21・8億円、同244・9%増と大幅な増加を示した。しかし平

均単価は同65・2%減と大きく下がっており、需要の大半が安価なコードリーダーなどと見られる。

「自動車総合診断装置」は同12・5%増、58億8283万5千円。カーメーカー向けが50%以上の伸び率で、輸出向けがおよそ半分を占めた。

「車検機器」は同24・1%減、71億5339万3千円。オパシメータを除いた場合には同4・6%増となっている。同項目ではオパシメータの大幅な減少が項目全体の数値を押し下げた。

「洗車洗浄装置」は同18・8%増、61億222万4千円。台数増・単価減の傾向が見られる。

「リフト・ジャッキ・プレス」は同1・7%増、123億6627万2千円。震災からの復興に向けた必要最低限の設備に活発な投資が行なわれた。

「ハンドツール」は同0・9%増、

109億2982万9千円。工具セットや絶縁工具が大幅な増加を見せた。

その他の項目についても増加傾向が見られた。

発表時のあいさつの中で中谷会長は「自動車販売は補助金制度などのおかげで活気がある。しかしそれらが終わり、役割を果たしたあとにどのような状況になるのか想像が出来ない。消費者の消費意欲が衰えず活性化することを望む」と先行きを懸念するコメントを残した。

自動車機械工具販売実績統計対比表

年度	区分	販売実績(千円)	構成比	前年度対比
2007	輸入品	13,835,798	12.4%	362.3%
	輸出品	3,387,787	3.0%	104.1%
	国産品	94,458,533	84.6%	99.6%
	計	111,682,118	100.0%	109.6%
2008	輸入品	13,740,207	13.3%	99.3%
	輸出品	2,847,526	2.8%	84.1%
	国産品	86,657,641	83.9%	91.7%
	計	103,245,374	100.0%	92.4%
2009	輸入品	9,408,062	11.1%	68.5%
	輸出品	1,991,242	2.4%	693.9%
	国産品	73,212,382	86.5%	84.5%
	計	84,611,686	100.0%	82.0%
2010	輸入品	11,519,799	13.2%	122.4%
	輸出品	2,439,689	2.8%	122.5%
	国産品	73,569,226	84.1%	100.5%
	計	87,528,714	100.0%	103.4%
2011	輸入品	13,272,701	14.7%	115.2%
	輸出品	4,325,031	4.8%	177.3%
	国産品	72,842,925	80.5%	99.0%
	計	90,440,657	100.0%	103.3%